



WITHコロナ時代における 持続可能なトカイナ力を目指して

2021年2月27日

基山町チーム

浜部 竜郎

今村 亮太 岩永 礼美 河邊 拓海

眞鍋 綾太 安田 紗哉 矢野尾 左山

1. 日本の現状
2. 基山町の現状
3. 基山町チームが取り組む課題
4. 課題解決に向けた分析
5. ソリューションとユースケース

Agenda

1. 日本の現状

2020年、新型コロナウイルスの感染拡大により、
あらゆる世代の生活、あらゆる業種の仕事が影響を受け
私たちは様々な対応を求められた1年でした

**PANDEMIC
#COVID19**

1. 日本の現状

特に、高齢者は重症化リスクがあることから
高齢化が進む日本の各自治体においては
これまでにない対策を検討する必要が生じた

在宅時間の増加

「3密」回避

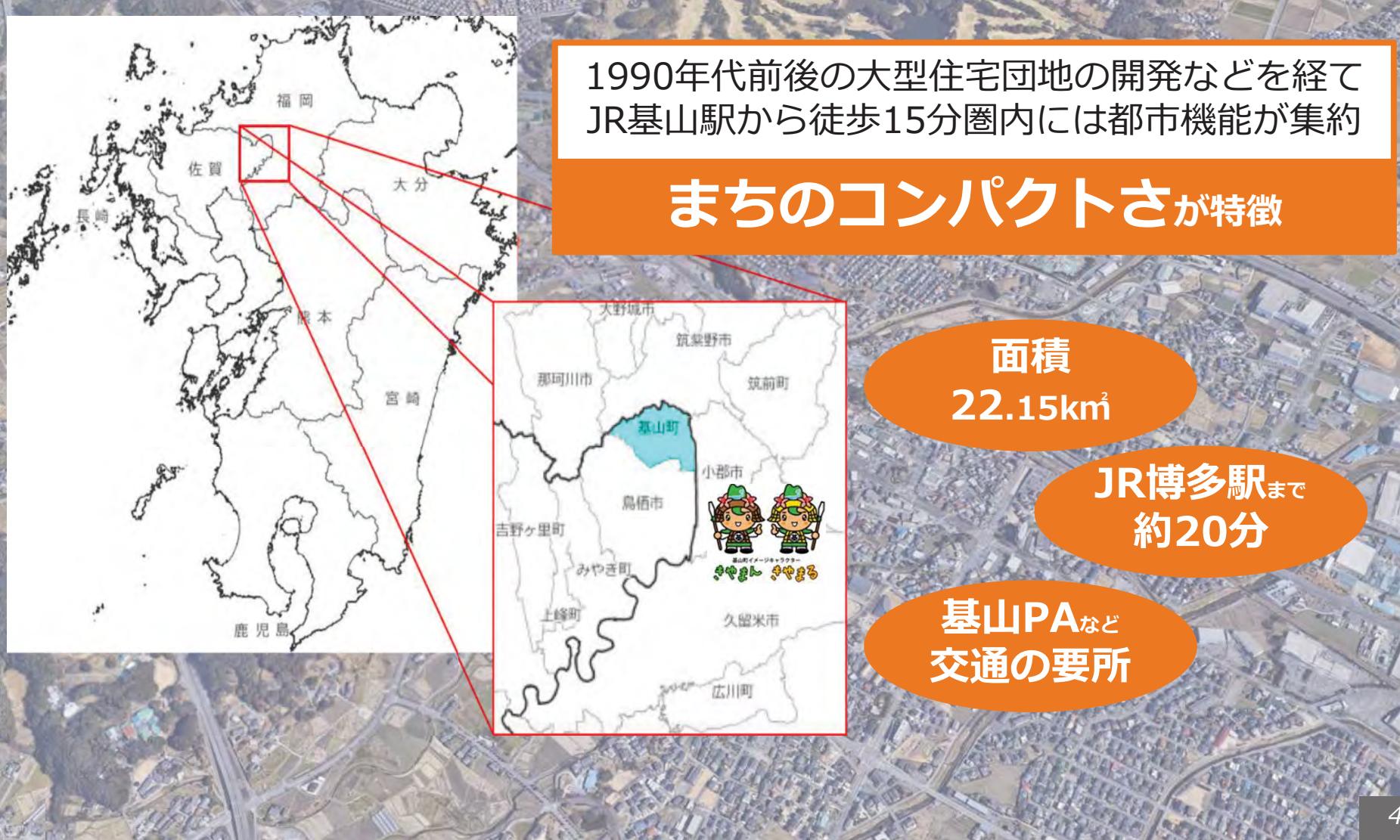
PANDEMIC
#COVID19 不要不急な
外出の制限

医療/介護現場の
クラスター不安

大きなパラダイムシフトの時代に入

2. 基山町の現状

佐賀県の東端に位置し、福岡都市圏のベッドタウンとして発展



2. 基山町の現状

基山町が目指すまちづくりのコンセプト
「コンパクトで持続可能なトカイナカ」

トカイナカ

都会すぎず田舎でもない場所

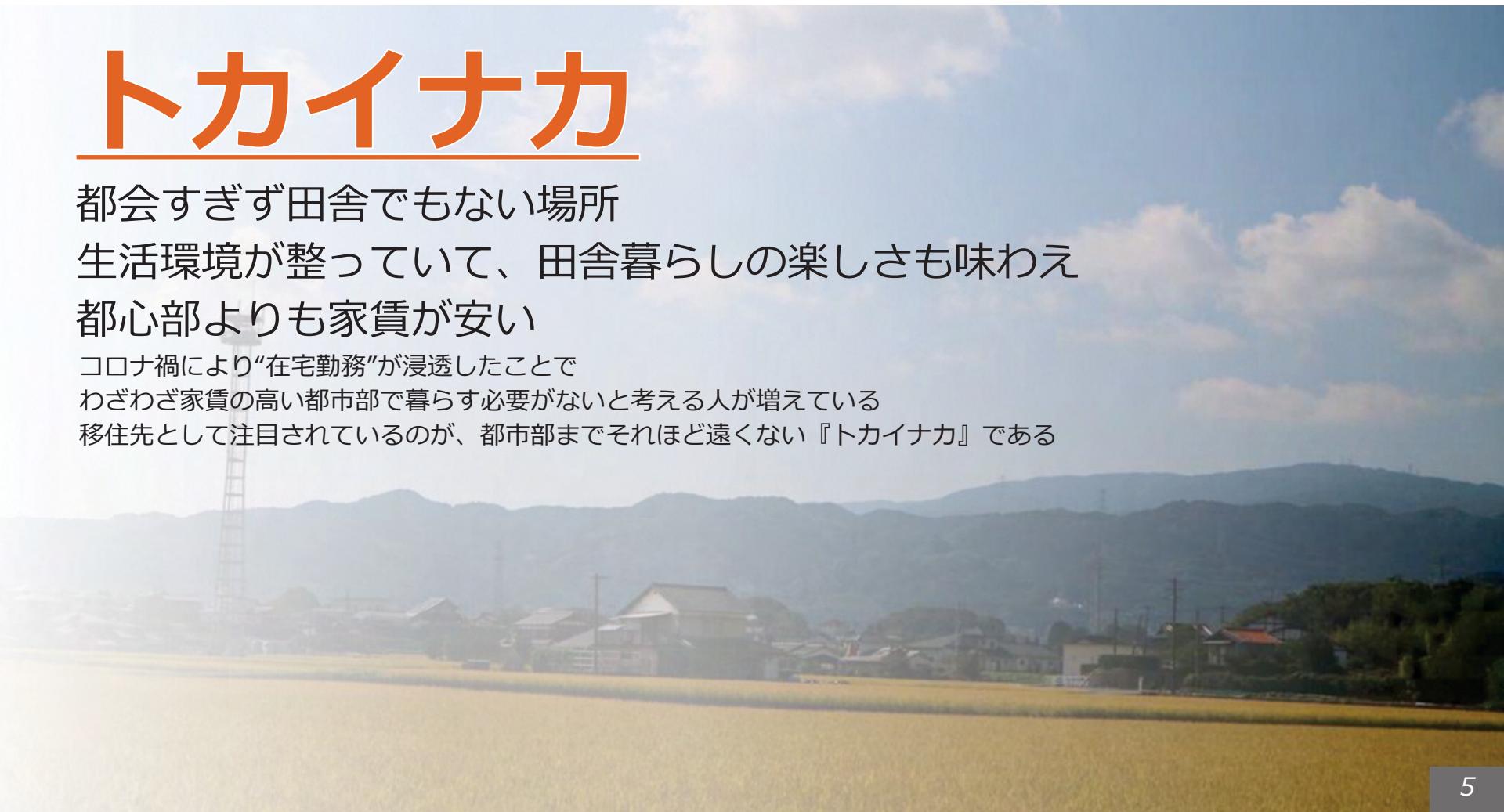
生活環境が整っていて、田舎暮らしの楽しさも味わえ

都心部よりも家賃が安い

コロナ禍により“在宅勤務”が浸透したこと

わざわざ家賃の高い都市部で暮らす必要がないと考える人が増えている

移住先として注目されているのが、都市部までそれほど遠くない『トカイナカ』である



1. 日本の現状
2. 基山町の現状
3. 基山町チームが取り組む課題
4. 課題解決に向けた分析
5. ソリューションとユースケース

NEXT

3. 基山町チームが取り組む課題

基山町には移住してきた「団塊世代」の存在が目立つ

基山町の人口

約**17千人**

2017年度以降
横ばいに推移

移住促進
政策が
寄与

高齢世帯の増減率

高齢者夫婦世帯 **129.9%**

※佐賀県116%、近隣3市平均125%

高齢者単身世帯 **138.5%**

※佐賀県121%、近隣3市平均130%

(2010年→2015年増減比、出典:国勢調査)

佐賀県全体や近隣の3市(※)と比較して
(※鳥栖市・小郡市・筑紫野市)

高齢世帯が多い傾向

3. 基山町チームが取り組む課題

高齢化する住民が暮らしやすい環境や活躍の場づくりが急務

**持続可能なまちづくりに対する
政策が必要不可欠**

10年先の高齢世帯増加を見据えて
ウォーキング習慣定着や産官学での
ファストケア構想など様々な政策を推進

スマート
ウェルネス事業

プラチナ世代
(高齢者)向け事業

松田 基山町長



3. 基山町チームが取り組む課題

新型コロナウイルスにより、新たな課題が浮き彫りに

コロナ禍の「外出」に影響

外出頻度：週5日以上 **▲34.8%**

(出典: WHILL株式会社, 2020年8月, シニア世代におけるコロナ禍の外出・社会参加影響調査)

住民意識：外出を控える **62.8%**

(出典:基山町, 2020年9月, 第5次基山町総合計画 中間評価)

外出頻度の減少による健康問題

自治会活動などの制限による孤独孤立化

高齢者を取り巻く課題が進行する懸念

4. 課題解決に向けた分析

住宅団地開発により移住した世代の高齢化が進むエリアに注目

基山PA

JRけやき台駅

基山町役場

けやき台

- ・高齢化率33% (基山町平均30.4%)
- ・同年代層が住居 約1,400世帯
- ・駅を起点にしたコンパクトな街区

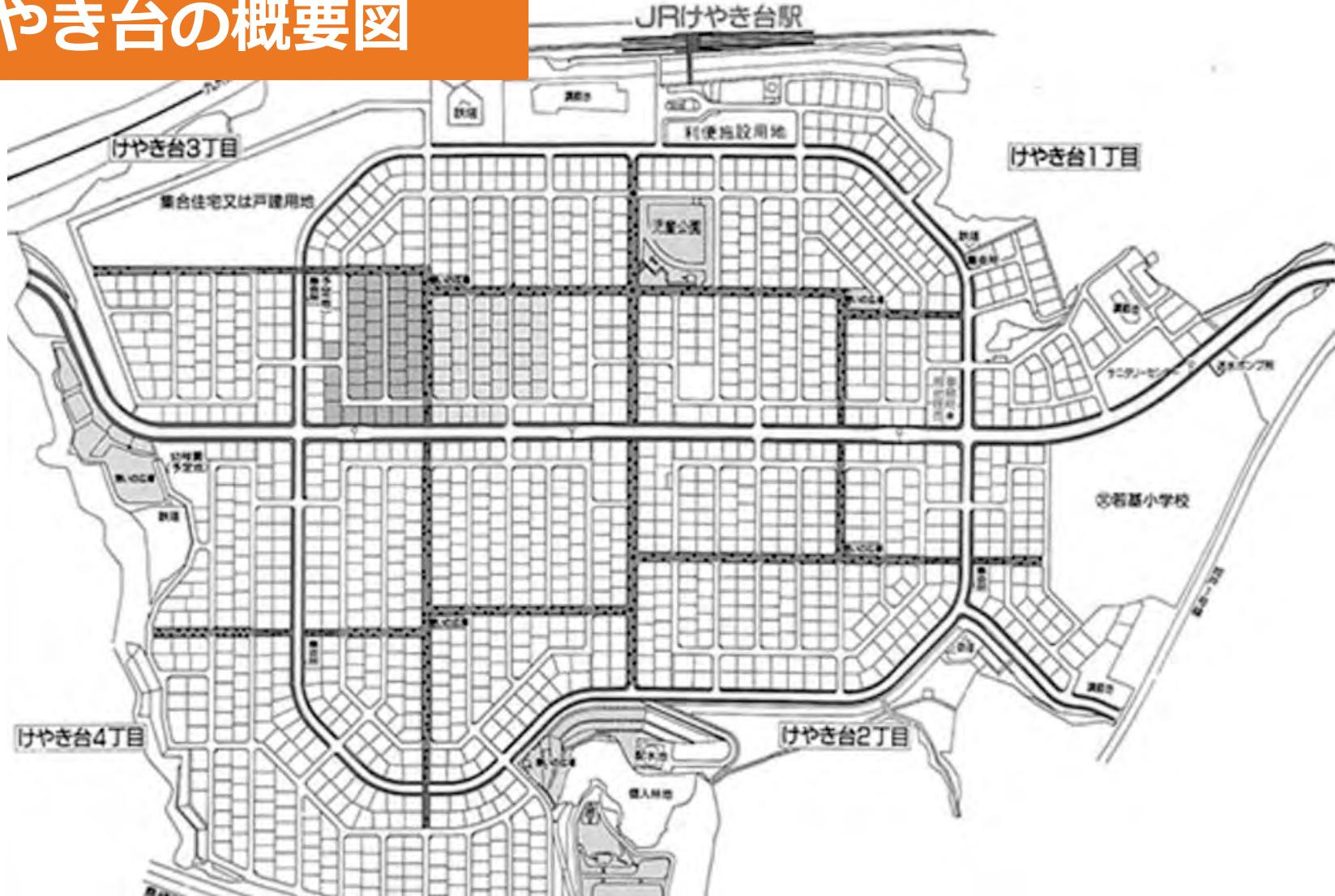
JR基山駅

都市機能が集約するエリア

けやき台を対象に政策を検討

4. 課題解決に向けた分析

良好な住環境がある典型的な郊外型住宅団地として開発
けやき台の概要図



4. 課題解決に向けた分析

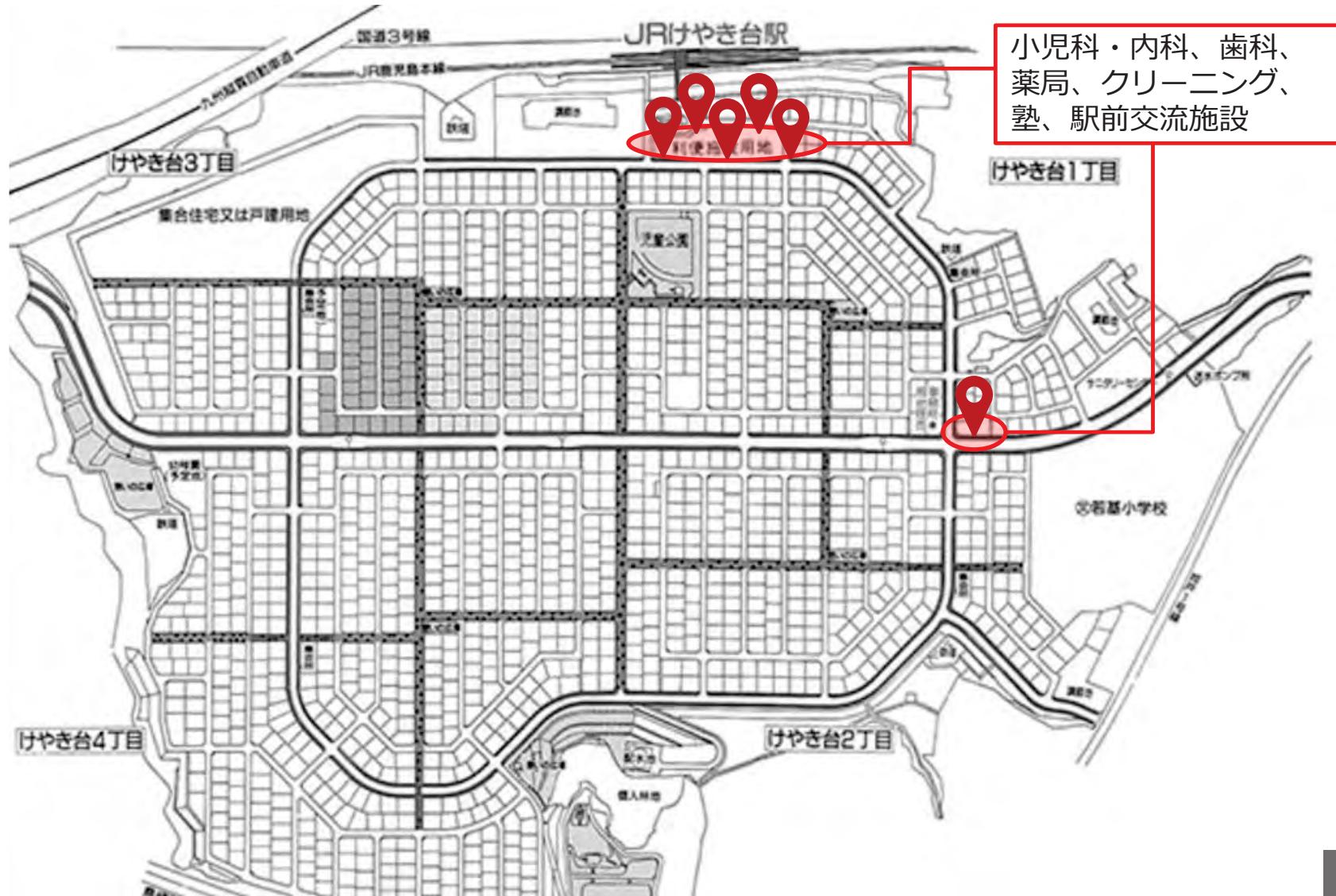
良好な住環境がある典型的な郊外型住宅団地として開発

けやき台の主な風景



4. 課題解決に向けた分析

スーパー やコンビニエンスストア、総合病院などは団地外に



4. 課題解決に向けた分析

スーパー やコンビニエンスストア、総合病院などは団地外に



駅前に一部の生活サービス向け施設が集中

「商業施設が少ない」 「車が必要、交通が不便」

将来買い物に困る不安がある 35%

(過去調査比 +14.3%) <住民アンケートより>

トカイナ力の魅力が発揮できていない

4. 課題解決に向けた分析

コミュニティバス

便数が少ないし
雪の日には運休



坂を上り下り

通院など用事の際は
車での移動に依存



身边に息抜きの 場所

が欲しい



限られた商圈エリアなどの制約

周辺に大規模な小売店舗が立地しており
当初存在した駅前のコンビニは撤退
それ以降は新規出店の事業者が現れていない

住宅団地の住環境にパラダイムシフトを起こす

1. 日本の現状
2. 基山町の現状
3. 基山町チームが取り組む課題
4. 課題解決に向けた分析
5. ソリューションとユースケース

NEXT

5. ソリューションとユースケース

けやき台住民は、団地外の多くの生活サービスを利用している



買い物弱者や移動弱者が増加し続ける恐れ

5. ソリューションとユースケース

けやき台に「まちのコンシェルジュ」の導入を目指します



住民に新しい“つながり”を創出

5. ソリューションとユースケース

私たちが目指す「まちのコンシェルジュ」事業とは

受付機能

生活に必要なものの
ニーズを受付し
事業者と繋ぐ

代行機能

ちょっとした困りごと
人力作業などを
代わりに実施

どのような人が担えるか

地域の住民であり、顔見知りであり、
悩みごとなど頼りやすい関係性であること

行政でも民間企業でもない、住民目線での架け橋役

5. ソリューションとユースケース

既にけやき台で大きな存在感を示す住民団体SGKに注目

SGK

Senior makes great Kiyama

シニア世代の経験を地域支援に生かす目的

名前の由来：すごか = SuGoKa

SUGOCA
じゃないよ

2016年に
発足

約**90**名の
住民が会員

経験豊富な
シニア人財

2021年度
NPO法人化

**地域貢献が
活動目的**



安本 SGK会長

5. ソリューションとユースケース

既にけやき台で大きな存在感を示す住民団体SGKに注目

パソコン教室



子どもたちの学業支援



カフェ&特産品販売



記念行事など会合



5. ソリューションとユースケース

団地内の公園で開催されている朝市の中心的存在でもある

朝市の企画・運営



毎週日曜日開催

主に基山町の農家や魚屋、
パン屋など約10店舗が出店

実行委員会のメンバーは
法被を着て朝市当日も奮闘



5. ソリューションとユースケース

まずは高齢者の生活不安解消のためのサービス導入を提言

受付機能

悩み相談・よろず活動

住民の各種ニーズを受け付け、困りごとを解決できる事業者や人、行政などをつなげる。

気軽な会話から悩みを引き出すことが狙いであり、**カフェサービス**も行うことを想定する。また、日頃の交流を通して、**住民の見守り活動に寄与**することも狙う。



受付機能

買い物受付

住民からの購入希望を受け付け、事業者に手配する。

事業者(スーパー・ドラッグストアなど)は配送サービスを通して、コンシェルジュの拠点に届ける。届いた品はコンシェルジュから住民に渡す。また、**各種インターネット宅配の注文支援**も行う。

5. ソリューションとユースケース

まずは高齢者の生活不安解消のためのサービス導入を提言

代行機能

買い物代行



住民から依頼を受け付け基山町内のスーパーや
ドラッグストアでの買い物を代行する。

外出が困難な場合や重たいものを運ぶことが負担になる場合などの
住民ニーズに対応する。

代行機能

荷物の発送・受取代行

荷物を預かり、宅配業者へ引き渡す、もしくは
宅配業者から荷物の受け取りを代わりに行う。

対象は宅配便だけでなく、クリーニングや薬局の処方薬なども、
検討範囲に含む。

※佐川急便とは、SGKの拠点(駅前交流施設)を荷物の受取場所に指定できるよう準備中



5. ソリューションとユースケース

身近な距離にある公民館や交流施設を受付を担う拠点に活用



5. ソリューションとユースケース

基山町で検討中の事業に合流し、さらに利便性の向上を目指す

FY2021

FY2022

FY2023

…



今回の政策提言
による事業案

サービスが身近になる
まちのコンシェルジュ事業

行政主導の
推進事業

ヒトが移動しやすい
モノが移動しやすい

スマートモビリティ事業

MaaS やスマートモビリティを活用した持続可能な
モビリティ体系の構築による地域の活性化手法について検討中



5. ソリューションとユースケース

公民館や団地内の公園を移動サービスの拠点に活用



5. ソリューションとユースケース

公民館や団地内の公園を移動サービスの拠点に活用

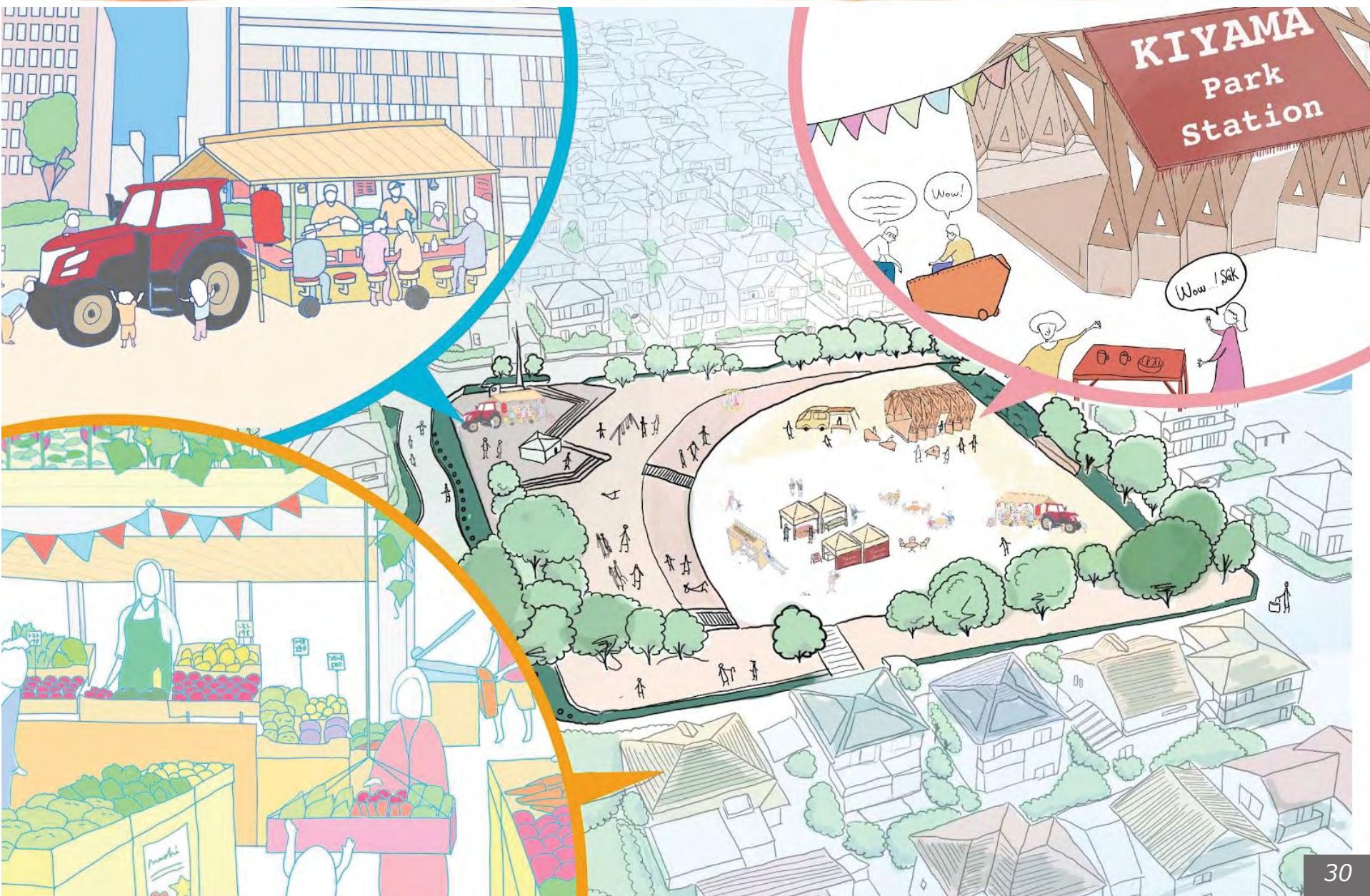


5. ソリューションとユースケース

公民館や団地内の公園を移動サービスの拠点に活用



けやき台が「住民が暮らしやすい環境づくり」のモデルに



けやき台が「住民が暮らしやすい環境づくり」のモデルに



基山町を
もっと便利に、もっと楽しく、もっと住みやすく

6. まとめ

この事業を基山町内外の他の住宅団地にも適用できるように

けやき台モデル



コロナ禍にも対応した
コンシェルジュの存在価値

コンパクトな街区を活かした
住民同士のつながりを創出

**持続可能なまちづくり
トカイナ力を目指して**

ONE KYUSHU

九州から、はじめよう

Special Thanks to...

基山町/コミュニケーション
亀山 博史さん

フェロー
濱野 昌志さん
轟 政貴さん
岡田 学さん

インタビューにご協力いただいた
基山町の皆さん

We're KIYAMA team!



ご清聴ありがとうございました

